

東毛

綿織物「館林紬」再興を 地元有志が会社「紬・組」設立

館林

館林市の伝統的な綿織物、館林紬の再興を目指す地元有志が合同会社「紬・組」を設立した。

29、30の両日、同市仲町の館



新会社について説明する代表社員の安楽岡さん(右)と飯塚はる香さん

林パブリックハウスで発表会を開き、市内での生産体制再構築や特徴的な柄を活用した商品展開といった展望を説明する。

時。発表会は午前11時〜午後6時。(正田哲雄)

館林紬は現在は生産されておらず、1社だけ残る織元が在庫の反物で製品を作っている。消滅が懸念される中、魅力を新しい形で提供しようとする有志が「館林紬2・0」と題したプロジェクトを昨年からはじめ、今月法人化した。発表会ではプロジェクトの説明や館林紬を使った製品の展示販売、機織りのデモンストラクションなどを行う。代表社員の一人、安楽岡紀子さんは「衣類だけでなく、柄を日常生活で生かせるような活用法を提案したい」と話している。

高校生ものづくりコンテスト県大会



木材加工 石原さん(桐生工業)優勝

桐生

第18回高校生ものづくりコンテスト木材加工部門県大会(県高校教育研究会工業部会主催)が25日、桐生市の桐生工業高で開かれ、同校3年の石原麗菜さんが優勝した。

前橋工、高崎工、桐生工、館林商工の4校から13人が出場した。生徒たちは3時間の制限時間で、図面を基に課題を製作。かんなやのこぎりを使い、黙々と作業に取り組んでいた=写真。

若手技能者の育成を目的に開催。県建築業組合連合会の技術指導員らが、手際の良さや正確性などを審査した。上位4人は8月に山梨県で開催される関東大会に出場する。

2位以下の入賞者は次の通り(敬称略、かっこ内の洋数字は学年)。

- ① 齋木大二郎(前橋工1)
- ② 今井騰也(桐生工3)
- ③ 中沢匠(高崎工3)
- ④ 川俣奈々(同)
- ⑤ 坂本暁基(桐生工3)
- (和泉皓也)